

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330312065	乳児保育 I Infant Care I	黒谷万美子	✓	専門	2	必修	1後期

**科目の概要**

この科目はDP2・3に記載されている子どもの生活学科の教育目標である人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。乳児保育の意義、理念、内容、方法、行政施策等に関する知識や情報について学ぶとともに、演習を通して保育実践に役立つ専門的技術を習得し、乳児と保育士の望ましい関わりを学ぶ。乳児保育においての様々な課題について討議しながら考え問題解決の方法を理解する。保健師として行政・企業・健康保険組合に20年間勤務し、健康教育・保健指導等行ってきた。家族支援を含めた健康支援活動の経験を生かした講義(演習・実習)を行う。

学修内容	到達目標
① 乳児保育の意義や概念、目的について学修する ② 乳児の発達と保育(新生児期から0歳児における育児上の問題と対応)について学修する ③ 乳児の発達と保育(1歳児から2歳児における育児上の問題と対応)について学修する ④ 保育の実際(食事・排泄・睡眠・清潔・習慣作り)について学修する ⑤ 育児教育(養育者への支援方法)について学修する	① わが国における乳児保育の変遷と保育所・乳児院・家庭の現状を確認しながら、保育所や乳児院の果たす役割、乳児保育を担当する保育者としての役割を自覚できる。 ② 保育所や乳児院で乳児保育を担当する保育士として必要な乳児保育の理論や知識・技術の基本を具体的な事例を通して理解し説明できる。 ③ 広く乳児期の発達と保育について学びながら養育者の役割について具体的に理解し育児教育指導案を立案することができる。 ④ 乳児を集団で保育することについて、保育現場での具体的な課題を討議しながら考え問題解決の方法・対処法について発表ができる。 ⑤ 養育者への支援方法について教育を行い他者への発信力を高めるための育児教育を行うことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	乳児保育に関連する出来事に注目し、不明な点は自ら行動し解決することができる。また、グループワークにおいて自分の役割を明確にして課題に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	それぞれの乳児保育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに発表することができる。
考え抜く力	課題発見力	毎回の授業のポイントを確認し、次回授業での復習(前回の授業でのQ&A)の時間において課題発見することができる。グループの課題を明らかにしグループワークを進めることができる。
	計画力	
	創造力	発表に向けて、自分達のテーマに合わせた効果的な媒体作成をおこなうことができる
チームで働く力	発信力	教育計画に基づき分かりやすく発表するとともに、対象を理解して伝えることができる。
	傾聴力	授業での復習(前回の授業でのQ&A)の時間において、相手の意見を正確に理解することができる。グループワークや発表時、内容確認や質問を行い正確に理解するとともに話しやすい状況をつくることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	規律性を守り、レポートを提出することができる。グループワークにおいてグループのルールや約束を守りメンバーのサポートができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト:後日提示。

**他科目との関連、資格との関連**

多科目との関連:「乳児保育 I」は学科専門科目「保育の内容・方法に関する科目」として設定されており、その後に履修する「乳児保育 II」「子どもの健康」の基礎となる科目である。  
 資格との関連:保育士

学修上の助言	受講生とのルール
子どもの保健の十分な理解が必要である。復習をしながら乳児保育に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の私語は慎み積極的に授業に参加する</li> <li>配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理しておく</li> <li>積極的なグループワーク、発表準備を行う</li> </ul> <注意>出席・授業態度では、3回遅刻で1回欠席。10分以上の遅刻や早退、居眠りは欠席扱い、更に5回欠席で-10点とする(1回につき-2点)。私語が多く再三注意を受けるなど受講態度が良くないときには、その授業の出席を認めない場合がある。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	レポート	50	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
		⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに育児教育準備プロセスから発表までの一連の流れにおいて、社会人基礎力を発揮し自己評価・他者評価において全て満足できる評価が得られる。つまり乳児保育がすぐ実践できる能力に達していることが基準となる(総合評価80点以上90点未満)。A以上の能力を有しているもの(総合評価90点以上)をSとする。</p>	<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに育児教育準備プロセスから発表までの一連の流れにおいて、社会人基礎力を発揮し自己評価・他者評価においてある程度満足できる評価が得られる。つまり乳児保育について一定の指導・研修後実践できる能力に達していることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	乳児保育の意義及び乳児保育の発展の経緯と現状について学ぶ	・講義(ガイダンス)・DVD視聴	児童の権利と乳児保育の意義・概念や乳児保育対策と乳児保育の普及について理解することができる。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章①) 復習:乳児保育の基本事項、子どもの保健についての復習90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	乳児の発達と保育(新生児期から0歳児における育児上の問題と対応)について学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	新生児期、0歳児における乳児の発達の特徴を理解し、育児上の問題についての具体的な対応について述べることができる。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章②) 復習:乳児の発達(新生児期、0歳児)についての復習90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	乳児の発達と保育(1歳児から2歳児における育児上の問題と対応)について学ぶ	・講義・DVD視聴・レポート記述(google classroom)・ポイント解説(Q&A)	1歳児、2歳児における乳児の発達の特徴を理解し、育児上の問題についての具体的な対応について述べるができる。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章③) 復習:乳児の発達(1歳児、2歳児)についての復習90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	乳児保育の実際(食事・排泄・睡眠・清潔・習慣作り)について学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	乳児保育の実際について理解することができる。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章④) 復習:乳児保育の実際についての復習90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	乳児保育の実際として、食事援助の実際と食事をめぐるトラブルの原因と対策について理解を深める。	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・グループワーク・育児教育計画立案・小テスト(google formsによるフィードバック)	それぞれの育児教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。教育計画立案する。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑤) 復習:授乳、離乳食、食事援助についての子どもの保健についての復習グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	乳児保育の実際として、排泄援助の実際と自立への援助、排泄におけるトラブルの原因と対策について理解を深める。	グループワーク 媒体作成・準備	それぞれの育児教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。教育計画に基づき媒体作成等の準備を行う。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑥) 復習:排泄、自立への援助についての復習、グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	乳児保育の実際として、睡眠援助の実際と睡眠におけるトラブルの原因と対策について理解を深める。	グループワーク 媒体作成・準備	それぞれの育児教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。教育計画に基づき媒体作成等の準備を行う。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑦) 復習:睡眠援助についての復習、グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	乳児保育の実際として、清潔援助の実際と清潔、習慣づくりにおけるトラブルの原因と対策について理解を深める。	グループワーク 媒体作成・準備	それぞれの育児教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。教育計画に基づき育児教育練習を行う。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑧) 復習:清潔援助と習慣作りについての復習、グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	指導案の立て方／模擬授業グループ編成 「基本的生活習慣」を啓蒙するための模擬授業(10分)のためのグループ編成及び指導案作成	グループワーク グループ発表	食事援助、問題と対応について発表することにより自分の役割を果たすことができる。発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑨) 復習:グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	模擬授業 乳児保育の実際、排泄をめぐる問題と対応について学ぶ グループ発表・評価	グループワーク グループ発表	排泄援助、問題と対応について発表することにより自分の役割を果たすことができる。発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑩) 復習:グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	模擬授業 乳児保育の実際、睡眠をめぐる問題と対応について学ぶ グループ発表・評価	グループワーク グループ発表	睡眠援助、問題と対応について発表することにより自分の役割を果たすことができる。発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑪) 復習:グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	模擬授業 乳児保育の実際、清潔をめぐる問題と対応について学ぶ グループ発表・評価	グループワーク グループ発表	清潔援助、問題と対応について発表することにより自分の役割を果たすことができる。発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑫) 復習:グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	模擬授業 乳児保育の実際、習慣作りをめぐる問題と対応について学ぶ グループ発表・評価	グループワーク グループ発表	習慣作りに対する援助問題と対応について発表することにより自分の役割を果たすことができる。発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑬) 復習:グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	家庭や関連機関、地域との連携の必要性、具体的方法について学ぶ	・講義・討議・まとめと確認	家庭、関連機関、地域との連携について述べることができる。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑭) 復習:今までの乳児保健の実際、問題、対応についての復習90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	乳児保育のあり方と今後の課題、保育者の資質と専門性の向上について考える。	オンデマンド配信	保育者の資質と専門性について考えを述べることができる。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章⑮⑯) 復習:保育者の資質について保育原理、その他の資料を準備する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力